

ほとぎのさと展示室

1300年前の長久手と飛鳥のつながりが垣間見える



市指定文化財「刻銘須恵器」

所在地：長久手市卯塚一丁目 101 番地（市が洞小校区共生ステーション内）

TEL：0561-61-5914

開室時間：9時～17時

休室日：年末年始（12月28日～1月4日）

入場料金：無料

交通：名鉄バス、Nバス「たいようの杜」下車、徒歩2分

駐車場：28台

問合せ先：長久手市暮らし文化部生涯学習課（TEL0561-56-0627）

今から約 1300 年前、長久手市の丁字田と市が洞に窯が作られ、そこで焼かれた焼き物の須恵器は飛鳥の都まで税として運ばれました。このことを示すように「盆五十戸」（ほとぎのさと）と彫られた須恵器が飛鳥と長久手で出土しています。長久手市では出土した須恵器のうち字が彫られた 10 点を「刻銘須恵器」として市指定文化財として指定しています。

ほとぎのさと展示室では市指定文化財を含め、市が洞と丁字田の窯跡から出土した須恵器を中心に約 10 点公開しています。

今みなさんの住んでいる場所で約 1300 年前に作られた須恵器を見学に来ませんか。

展示室



展示室内では出土品のほかに丁字田と市が洞の発掘当時の写真などをパネル展示しています。

スライドでは丁字田と市が洞の出土品の画像を上映しています。

なお、展示品は文化財保護のため、入れ替えを予定しています。

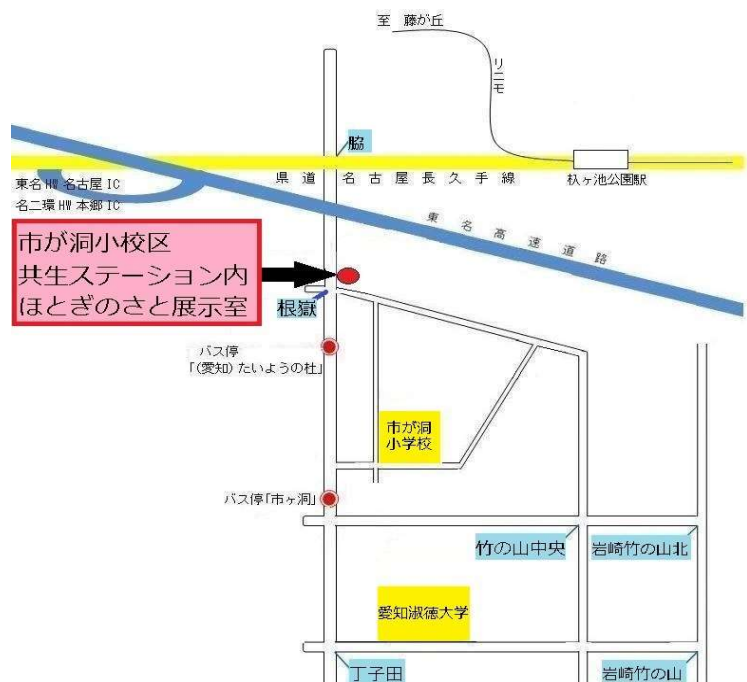


土器パズル

焼き物の感触を楽しみながら、パズルを組み立ててみてください。



アクセスマップ



「ほとぎのさと 長久手」のパンフレットもあわせてご覧ください。
 (生涯学習課窓口、ほとぎのさと展示室に設置、
 または市役所ホームページでも公開しています)